

## 日本へそ公園

日本の標準時(子午線)がとおる東経135度・北緯35度の交差地点のみを公園です。日本列島を見たとき、日本の中心にあたります。「へそ」の起源は大正時代までさかのぼります。大正12年に、陸軍省測量部陸地測量部の計測に基づき、上比呂町の加古川河川敷と交差標識柱が慰問①が建立されました。その後、平成8年ごろはGPSで正確に測量された「もぐりどっのへそ」②もありました。

日本へそ公園は、経緯度の交差地点のほか、経緯度をテーマにしたしわき経緯度地球科学館(アブドーム)③を中心に、方位の応用や科学の原理を使ったユニークな遊具「宇宙っ子ランド」、「ふわふわドーム」、「ジャンボ滑り台」があります。また西脇出身のアーティスト、横尾忠則氏の作品を収蔵・展示する西脇市岡之山美術館④やレストランがあり、芸術と科学の融合したアミュージメントパークとして親しまれています。

また公園の内に鉄道線路と駅があります。その橋は加古川が流れています。日本へそ公園駅というユニークな名前が世界を探してもここだけです。

毎年8月には西脇市のおまつりへその西脇・縁物まつりの会場にもなります。毎年12月には日本のへそ-子午線マラソン大会が開催地交差地点付近を発着点に行われ、県内外から多くのランナーが参加されます。

岡之山公園は日本へそ公園に隣接する古い公園です。しわき経緯度地球科学館の東側から、GPS測量のモニュメント、4本のポール状の柱(守護神の柱)を囲む回廊をつらねる道を通ると、やがて岡本丸太で作った障子になり、変わった所に古墳の案内板も、下草や藪っかい尾根筋を辿ると頂上で墳丘の最上に出ます。古墳時代前期のもので、この地域唯一の前方後円墳です。案内板から南へ降りると広い場所へ出、南東への眺望がよく、室町時代から道端のあつたと伝わる北延山が一望できます。北基の片隅に西脇の縁物の祖となった頼安兵衛の宗廟神がいます。

## アクセス



- 北はりま田園空間博物館 総合案内所へは  
・北脇駅前西脇市道車上インターから東175を南へ車で30分  
・中国自動車道西脇・比インターから東373を南へ車で約20分  
・JR加古川線「日本へそ公園駅」から徒歩約20分
- 日本へそ公園へは  
・東175、3号川口より南へすぐ 加古川線日本へそ公園駅下車

## くわしくお知りになりたい方は

北はりま田園空間博物館発行「まるごとガイド」「北はりま田園空間旅行」「でんくうガイドマップ」。または、ホームページをご覧ください。

## お問い合わせ

### NPO法人 北はりま田園空間博物館 へ

北はりま田園空間博物館

道の駅 北はりまエコミュージアム  
〒677-0022 兵庫県西脇市寺内 517-1  
TEL: 0795-25-2370 FAX: 0795-32-2023  
URL: <http://www.nk-denkoku.com>  
E-mail: [info@denkoku.com](mailto:info@denkoku.com)

- ・営業時間: 9時～18時 (日・月・2月は10時～18時)
- ・年中無休(休日も)

## ぐらぐら探検マップ

気軽に楽しめる半日コース No.7

# 日本へそ公園の周辺を歩く



水車のある庭園

特定非営利活動法人

北はりま田園空間博物館 へ

北はりま田園空間博物館 総合案内所 (道の駅 北はりまエコミュージアム)



結度のチラドーム③



丘の上4本のホール売点在GPS測量午線②